

CONTENTS ◆まちめぐり ◆おくさわ今と昔 ◆懐かしい風景を復元する
◆グリーンサムのお庭拝見 ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

秋のつどいレポート

まちめぐり (唯称寺・林試の森・目黒不動)



(奥沢駅前集合)

9月にしてはちょっと肌寒い曇り日ながらまちめぐりには好都合の天気である。奥沢駅に集合・武蔵小山下車でまずは水琴窟のある唯称寺へと歩を運ぶ。

水琴窟は遠く江戸時代に遡り、排水を目的とした遊園施設「洞水門」が起源とされるもので、その構造の多くは底に小さな穴を開けた甕を伏せて埋め、その下に溜まっている水の面に手水の余水が穴から落ちて甕の空洞に反響するもの。甕の大小や形の違い等で高く澄んだ音や低い湿りのある音など異なった音色がかもし出され、その音が琴の音に似ていることからいつしか水琴窟と呼ばれるようになった。

唯称寺では室内と坪庭に作られたそれぞれ趣の異なる2種の水琴窟の音を聴き、本堂では妙なる音色をテープで聴きながら俗世を離れた境地に浸った。お寺の御厚意の茶菓を頂きながら堀内代表から水琴窟の話を伺



(唯称寺水琴窟)

い、ガレージで簡易水琴窟を見て次に向かう。

第2の目的地「林試の森公園」は、明治33年農商務省の林業試験場として発足し平成4年に都立公園として一般に開放された。

自生種に加え、研究対象となった国内外の珍しい木々がそびえ立つ園内を森林浴しながら歩く。途中で思わぬ宝物(木の実など)が手に入ったりする。長瀬代表から木々に関する説明を受けて4大街路樹がプラタナス・ボダイジュ・マロニエ・ケヤキである事、3種のスズカケの木の特徴やセンダンの木にまつわる話などを知る。又今回参加の安野氏は手作りの配布資料を持参していろいろ説明して下さいました。ありがとうございました。

予定時間を過ぎ、お不動様の縁日の出店で賑わう目黒不動の前で解散、自由行動となる。今回は2才の可愛いお嬢ちゃんも加わり、総勢35名の楽しい充実したまちめぐりツアーとなった。

(杉村)



(目黒不動)



(林試の森すずかけの道)

おくさわ今と昔

リサイクル支援を通して街の美化に奉仕

奥沢2丁目の浮田基信さんはお仕事を退かれた1988年暮から満21年にわたる91才の今日迄、どうしても都合のつかない日とお正月を除く毎朝6時半頃から9時頃まで奥沢2丁目の道路清掃を続けていらっしやいます。「今年から雨の日はとりやめる事にしました。」とおっしゃる元気そうなお顔はとて91才とは思えませんが「このお陰で健康にも役立っているようで・・・」とのこと、謙虚で誠実なお人柄が滲み出るやさしい笑顔の奥の、人間としての深さ、凛とした強さに心を打たれます。

動機は、散歩の途中で2丁目公園のあまりの汚さに驚いた事です。夜に汚すので朝きれいにするのが良いと考えて、朝の清掃を始めました。これを続けることは自分への課題でもあったと振り返られます。当時は空缶やダンボール紙が道に沢山捨てられていて、アル



(分別整頓されたステーション)

ミ缶は拾って潰し婦人会に、ダンボールは教会・コンビニの回収にまわしました。1993年(H5)にリサイクルステーションが出来たが徹底せず、ゴミ集積所に資源ゴミが出されるのでそれを台車で集めて、古紙・ダンボールは揃えて紐で縛り、缶は別に纏める作業が夕方までかかったそうです。纏めたものはお宅に保管し週1回の収集日にステーションに出していました。「台車は何台も潰れる程で一番大変な時でしたが面白がってやっていました」とニコニコなさって話されました。

その頃煙草の吸殻が道に沢山捨てられたので、空缶を電柱などに吊るして吸殻入れを作られたのも浮田さんのアイディアです。その数50以上、現在も利用されています。



(自作の吸殻入れ掃除)

「2000年(H12)から今の形となり私の派手な仕事は終わったのです」と淡々とお話しになるこの21年の活

動はゴミ収集・リサイクル事業の歴史でもあります。お世話になりながらここまで気付かずに過ごした私は恥じ入る思いでした。

この活動は奥様の御協力に支えられている事は言うまでも無く、奥様は御病気で入院された時にも寒い朝早くお出かけの御主人のために、着るものを電話で指示されたとのこと「リサイクルステーションの頃は夕方迄かかり切りで大変でしたね」とお二人で語り合われる御様子がとても微笑ましく感じられました。浮田さんは「やってみたら足腰の痛みも無くなり大病もしないで、健康のためには非常に良いという事が立証できたし、それなりの満足感も得られるので、皆さんに是非おすすめしたい」と後に続く住人に期待を寄せられました。

奥沢はこのような方の御努力によってまちが美しく保たれています。いつまでも清潔な緑豊かな状態を保っていくのは住む人の心掛けにある事を再認識しました。(柳島)



(現在は道路清掃が主体)



(浮田さんご夫妻)

懐かしい風景を復元する（奥沢弁天池）

子供の頃の遊び場となった懐かしい場所がありませんか。当会ではまちの方々に当時の風景を思い出して頂いたり、写真を集めたりして当時の情景を復元しよう試みています。今回は奥沢銀座通りに在った弁天池を取り上げました。調べて欲しい風景があれば事務局へお寄せ下さい。

弁天池は奥沢銀座通りの奥沢駅側の入口（現在の入船寿司の南隣にあり、昭和25年に池が埋められ弁天様は現在の奥沢神社の境内に移されました。

弁天池には湧水が滾々と噴出し、西側（現在の押切整骨院前の通り）上流から流れる湧水を合わせ、呑川に注ぐまで稲田を潤していたそうです。（現在も大半が暗渠になっていますが下図のように辿ることが出来ます。）

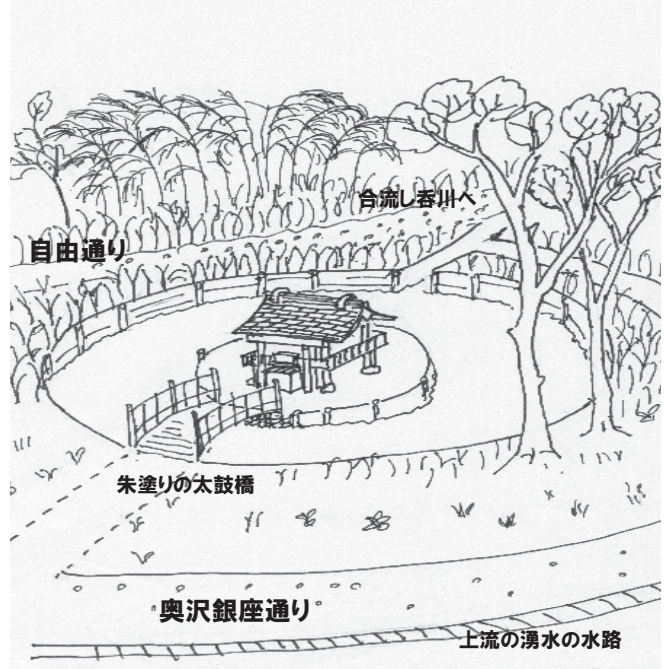
弁才天は、河の神様、音楽の神様、更には「才」を「財」と読んで財宝の神様としても古くから信仰され、七福神の一つにもなっています。

湧水の多い世田谷区や大田区には、洗足池、洗足池の水源である清水窪や北沢川跡にある左内弁財天のように、弁才天が多くあったようです。

昔の奥沢銀座通りでは、毎月3の日に弁天様の市が立ち、綿菓子、しんこ細工、爆弾あられ、バナナの叩き売りなどの夜店が出て大変賑やかだったそうです。

こんな賑わいの元になった弁天様のことだから、写真があるだろうと思い、奥沢銀座の住人や子供の頃にここで遊んだ古老をお訪ねしましたが、残念ながら写真は見つかりませんでした。

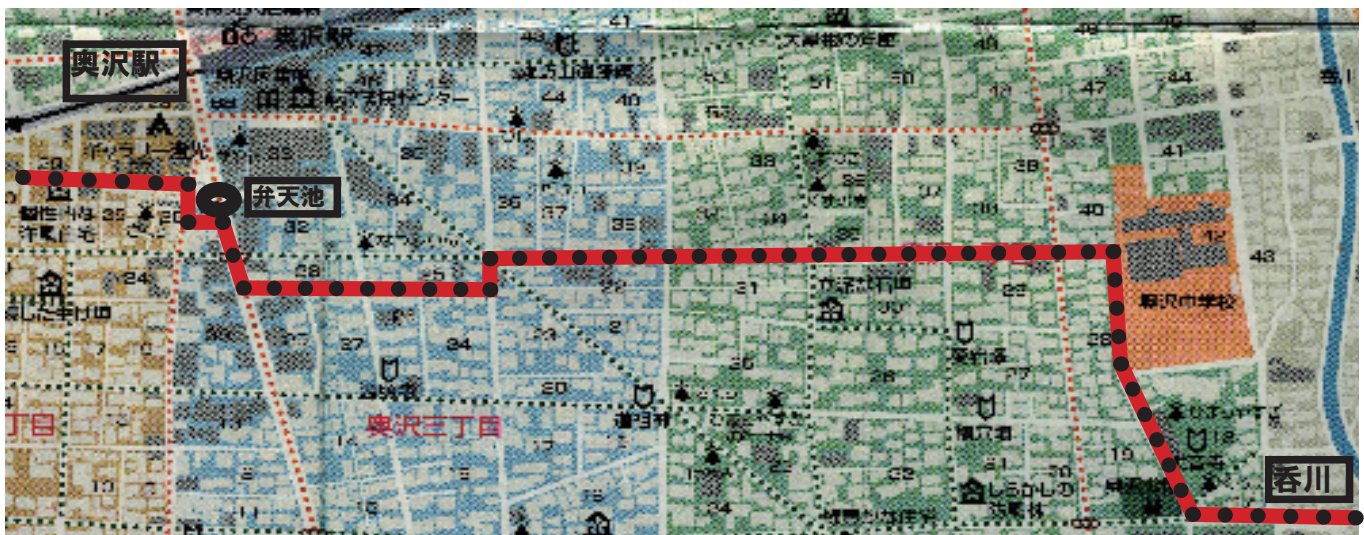
そこで皆様に記憶の糸を辿って頂き、弁天池の風景を再現してみました。昭和8年にお宮を改築した時の記念の集合写真（これには弁天池は映っていない）を参考に昭和10年頃を想像してみました。



池は東側に半分位の大きさで、社のある小島には朱塗りの太鼓橋が架かっていた。池の北側に清水が滾々と湧き、金魚、鯉や亀が泳いでいたそうです。池の手前の空地には大きな木がありその下で、紙芝居をやっていたそうです。池の周りは草茫茫で後ろは竹藪や雑木林が見えたそうです。（鈴木、吉田）



奥沢神社の弁材天



弁天池と湧水の流れ

グリーンサムのお庭拝見 Vol 30

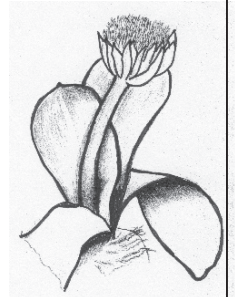
マユハケオモト

暑い夏が過ぎ去り秋晴れになった日に1丁目54番地の戸田家を訪問しました。

外からでも見える形の美しい大きな柿の木。「我家の宝物なのよ」とニコリとする戸田さんです。樹齢80年の幹には苔が生え甘い実は800個も取れる。今年は少なく500個ぐらいとか。玄関へと向うと左にハラシノ・竹・カボックが密集している。右には枝を左右に広げているピラカンサス。3度目にしてやっと根づいた千両と、難を転じるといふ南天が数本ありこれらの実は寒くなると鳥達の食料となる。

庭は30年前に硬い土地をご夫婦で耕してゴボウ・トマト・ナス・インゲンの畑を作った。現在の畑にはサルビアと小さい芽の春菊と白い花が咲く食べきれないほどのニラ。目を上げると1株から増えた100株のジンジャーが我々を見ている。横にはアフリカスミレ・ボケ・キシヨウブ・ノカンゾウ。そして淡紫色の花が咲いているコルチカム。球根はハート型でそのまま置くだけで花が咲くらしい。葉と葉の間よりまるで蒲団

から頭を出しているようなマユハケオモトの花は1ヶ月咲く。井戸水が出る蛇口の周りにミョウガ・カラー・サンショウ・アロエ・シュラン・ホトトギスなど。塀の外にまで出ているキンケイは5年前にNHK趣味の園芸の人が写真を撮らせて欲しいと来たほど大きく繁っている。5月頃に葉が赤くなる赤目柏は勤めていた学校にあってとても綺麗だったので貰ったもの。その下にはツワブキとエビネラン。所所にあるバラはお嫁さんからの贈物を地植えにしたものである。



戸田さんはやさしい眼差しで「日当たりがいいので総てが増えていくのよ」と言う。柿の木を見上げるとカラスが赤い実を食べていた。肥料の糠を年3回与えられた実を一番高い枝の上で私も味わいたいと思いつつ帰りました。(遠藤)

活動報告

- チェリーセージポットの手入れ：当会のシンボルフラワーであるチェリーセージのポットは、100鉢程を道路に面した場所に置かせて頂いていますが、10月19日と26日に秋の手入れを行いました。
- 世田谷区の第1回風景資産選定を受けた「大ケヤキのある散歩道」のプレートが完成し3枚配布されました。小さなプレートなので台に貼り付けて設置する準備を進めています。
- 世田谷区は、昨年度の第2回風景資産選定（「奥沢海軍村ゆかりの風景」が選定を受けた）に続く、第3回選定のための検討会が8月から始まり、会からも検討会に参加しています。
- 当会を特定非営利活動法人（NPO）として設立することは、既に5月の総会で承認を頂いておりますが、8月4日に東京都へ申請し、2ヶ月の縦覧期間を経て現在内容の審査中です。（11月末か12月初めに認証見込み）

会からのお知らせ

- 12月6日（土）の1時半から奥沢東地区会館で晩秋のつどいを催します。第1部は、まちづくりコーディネーター・建築家であり、多方面に御活躍の稲垣道子さんに、世田谷のまちづくりについて講演していただきます。身近な興味深いお話がうかがえると思います。第2部は、ソプラノ歌手小川えみさんの歌です。小川さんは、日仏交流150周年記念行事として開かれた音楽祭で、オペラファウストのマルグリートを10月に演じられたばかりです。後日ちらしを配布します。
- 土とみどりを守る会は、一年中会員募集！連絡先にお電話下さい。

編集後記

10月7日の夜、お誘いを受けて3-25箕浦さんのお宅の夕顔を鑑賞させて頂きました。北側のフェンスに這わせた蔓と葉の中から直径15cmぐらいの白い花が芳香を放ち、夜のとばりの中に際立って美しく競い合うように咲き誇っています。一夜の短い命を精一杯に輝く姿にみとれ言葉を忘れていました。垣根の裏側も数えると今日は50ぐらいでしょうとのこと、毎年花を咲かせるお世話も大変と思われるが、すべては御夫婦のあたたかい笑顔に包まれて、花が喜んで咲いているのです。花の心が私を豊かなやさしい気持ちにしてくれてしあわせに浸った夢のような宵でした。(Y)

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢 2-41-2 柳島尚子 3718-8558